

令和7（2025）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修③ 実施報告

実施日：令和7年6月5日（木）

本研修では、新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務遂行に必要な社会教育行政の基礎的知識や、学習プログラムの企画・立案技術等を習得します。第3回はオンライン形式で講話と演習を実施し、36名の方が受講しました。また、本研修は「公民館職員総合研修」と合同で行われました。

○講話・演習「社会教育における学びの形～学びの拠点としての公民館を中心に考える～」

講師：宇都宮大学 地域創生推進機構 宇大アカデミー 教授 佐々木 英和 氏

今回の講話では、公民館を「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点」として捉え、社会教育における多様な学びの形や教育概念、生涯学習の在り方、公民館等で行う「学習支援」などについてお話しいただきました。

特に、ネットコミュニケーションの活用を焦点を当て、実演を交えながら様々な活用の手法を示されました。また、教育概念に関しては、「伝達」の4つの局面や「教える一学ぶ」の関係性の再考、公民館の存在意義についても言及されました。

公民館を社会教育の目的論的視点から考えると、社会や人との関係性を育み、社会の可能性を引き出し、豊かにすることで、まちづくり、国づくり、さらには世界づくりへとつながることが示されました。

先生のお話は、オンライン形式での様々なコミュニケーション技法を活用しながら進められ、参加者同士が意見交換を通じて学び合う様子が多く見られました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・今日の研修に参加するまでは、「教育」と聞くと教えることだという先入観がありました。教えることは手段で、育むことは目的であると知り、育むためのあらゆる方法を考えて業務に当たりたいと思いました。また、双方向での話し合いが多く、楽しく緊張感を持って取り組むことができました。学校教育が終わった後も続く生涯学習を通して、人々の豊かな暮らしの支えとなれるよう職務に邁進していきたいです。
- ・「地方創生のカギは公民館」という捉え方が新鮮で、自身の公民館のイメージが根底から覆る理論でした。
- ・生涯学習の大切さ、公民館の役割を知ることができました。ありがとうございました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp